

2023 年度 （公民科） 教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎， 選択必修 ○， 選択 △） （講師：*）

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
I	公 共	◎	2	4	8	齋藤 大樹
III	倫 理	◎	2	4	8	齋藤 大樹

（2）指導計画表

科目名： 公共	学年： 第 I 学年	単 位： 2	担当者名： 齋藤 大樹
<p>1. 指導目標</p> <p>① 政治や経済に関わる概念を理解し、身の回りの事象に結び付けて思考するを養う。</p> <p>② 資料の読解に基づき、国家・政府の役割について理解した上で、論理的な根拠をもって、自らの判断や行動について考える態度を育む。</p> <p>③ 身近な社会から国際社会までを自分の所属する社会としてとらえる視点と、他者との共生の意識をもって問題解決に臨む姿勢を育てる。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>① 基本的事項の理解の上で、社会事象を正確に考察することができるか。</p> <p>② 社会的な問題を、自分との関わりにおいてとらえ、考えられているか。</p> <p>③ 自ら課題を見出し、当事者性をもって主体的な態度で考えようとしているか。</p> <p>3. 授業方法 議論・グループワーク 講義</p> <p>4. 評価の方法 定期考査 その他、授業における諸活動、提出物など これらを総合的に評価する。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>自由と平等は両立できるか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会契約説と立憲主義 2. 自由権と社会権 3. 日本国憲法における自由権 4. 人権の衝突と公共の福祉 5. 法の下での平等と社会権 6. 自由と平等は両立できるか？ <p>< 2 学期 ></p> <p>財政再建と社会保障は両立できるか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市場メカニズムと自由放任主義 2. 有効需要の原理 3. 財政政策と金融政策 4. 日本経済の現状 5. 日本の社会保障政策 6. 社会保障は行われるべきか？ <p>< 3 学期 ></p> <p>国際平和はどのように実現できるか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会の成立と勢力均衡政策 2. 集団安全保障と国際連合 3. 比較生産費説とその問題点 4. 自由貿易と保護貿易 	
<p>（使用教科書） 公共 実教出版</p> <p>（副教材・テキストなど） 最新 公共資料集 2023 第一学習社</p>			

(2) 指導計画表

<p>科目名： 倫理</p>	<p>学年：第3学年</p>	<p>単位：2</p>	<p>担当者名： 齋藤 大樹</p>
<p>1. 指導目標</p> <p>① 現代人が持つ価値観やものの見方の基礎に、古代に生きた先哲による思索が存在していることを実感させる。</p> <p>② 先哲の思想に基づき、自分たちの日常生活で起こっている問題について思考し、自らの考えを先哲の思想に基づいて表す力を養う。</p> <p>③ 「学ぶ」ことの意味と「学び方」を学ぶ。</p> <p>2. 評価の観点</p> <p>① 先哲の思想を、彼らの論理・思索に基づいて、正確に理解することができたか。</p> <p>② 先哲の思想について、自らの身近な事柄と結び付けて考えることができたか。</p> <p>③ 学んだことを、現代の諸問題を考えるための土台とできたか。またその土台に基づき、根拠を持って自らの考えを表現することができたか。</p> <p>3. 授業方法</p> <p>資料の読解を含む講義を中心とする。</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>定期考査を中心として評価する。知識理解とともに、記述・論述問題への解答を通じて、関心・態度を評価する。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <p>1 思想の源流</p> <p> i ギリシア哲学</p> <p> ii 諸子百家の思想</p> <p>2 宗教と人間</p> <p> i ユダヤ教・キリスト教の思想</p> <p> ii イスラームの思想</p> <p> iii インド思想と仏教</p> <p><特講></p> <p> i 日本の風土と思想</p> <p> ii 仏教の受容と展開</p> <p> iii 儒学と日本近世思想</p> <p> iv 西洋思想と日本近代思想</p> <p><2学期></p> <p>3 近代的人間の誕生</p> <p> i 近代人の誕生—ルネサンス・宗教改革—</p> <p> ii モラリストたち</p> <p> iii 経験論と合理論</p> <p>4 民主社会の形成と人間のあり方</p> <p> i カントの認識論・道徳論</p> <p> ii ドイツ観念論</p> <p>5 個人の主体性と自由・幸福</p> <p> i 功利主義と資本主義社会</p> <p> ii 実存主義</p> <p> iii プラグマティズムと実証主義</p> <p> iv 社会主義とヒューマニズム</p>	
<p>(使用教科書)</p> <p>改訂版 倫理 数研出版</p> <p>(副教材・テキストなど)</p> <p>詳解 倫理資料 新訂版 実教出版</p>		<p><3学期></p> <p>6 現代思想の展開</p> <p> i ポストモダンの思想</p> <p> ii 自由と正義</p>	